



# 担い手サポート通信

JA福井県五連組合員サポートセンター農業支援課

(福井市大手3丁目2番18号 TEL:0776-27-8215 E-mail:noushien@chu.ja-fukui.or.jp)

Tとことん、A会って、Cコミュニケーション!!

## 第1回 担い手対応レベルアップ (3STAC) 講習会

組合員トータルサポートセンターは、JAのTACや担い手金融リーダーなど担い手農家へ出向く担当者を対象に、農業会計や税務の知識をはじめ、担い手の経営改善に貢献できる分析能力や担い手との強い信頼関係を築く対応能力の向上を主眼とした「担い手対応レベルアップ(3STAC)講習会」(年間8回)をスタートさせました。第1回目は5月23日に農業会館に於いて開催され、8JA13人が出席。開催にあたり開講式が行われ、中央会の永井専務からは「この講習で十分にその知識や知恵を習得していただき、文字通りスーパー(優れた)・スペシャル(特別な)・サバイヴ(生き残る)な専門家として、これから遺憾なくその力を発揮していただきたい」と挨拶。第1回目は3STACとTAC専任化、農業経営収入保険事業及び農業共済事業の見直し、JA自己改革の取り組み状況と今後の進め方などついて講習が行われました。



## 圃場管理システムの紹介 JA福井市・西部ブロック

組合員トータルサポートセンターは、4月10日に福井市内で開催された「JA福井市西部ブロック協議会定期総会」において、当センターにて推進に取り組んでいる圃場管理システム(S-GIS)の概要などについて説明を行いました。S-GISとは、圃場の情報(作付品種・面積等)など複数のデータを地図上で重ね合わせ、視覚的に判読しやすい状態で表示するシステムで、ウェブ上で無料でダウンロードし、活用することができます。当日は生産者約20人が参加し熱心に耳を傾けていました。興味のある方は、組合員トータルサポートセンター農業支援課までお問い合わせください。



# J A 永平寺 いちほまれ田植式

県下一身の期待を背負った新ブランド米“いちほまれ”の田植式が5月15日にJ A 永平寺の光明寺地区にて行われました。会場となった圃場は無農薬無化学肥料でれんげ栽培を行っている（農）エコファーム光明寺。代表の加藤氏は田波会長から、



“いちほまれ”の栽培圃場であることを示す看板を受け取り「このように“いちほまれ”の田植式を行えることは喜ばしく責任重大。頑張って栽培していきたい」と挨拶。また、西川県知事から参加した関係者、大本山永平寺の監院、地元園児、また“いちほまれ”を連想させる名前を持つ方々ら約20人へ苗が手渡され、一斉に、“いちほまれ”の田植作業を行いました。集まった報道機関からは大々的にPRが図られました。



## 担い手研修会 J A はるえ



行われ、健康維持に関する秘訣や身体を使った頭のトレーニングなどが行われ、参加者からは笑い声が上がるなど親睦を深めました。

J A はるえは3月24日、あわら市で管内の担い手農家を対象に担い手農家（組織）研修会を開催しました。研修では経営所得安定対策や来年から加入申請が予定される収入保険制度など各種制度をはじめ、農業生産工程管理（GAP）や水田園芸の取り組みなどについて各担当者より説明を行いました。また当日は福祉事業団より健康に関する講演が





# 福井梅の出荷がスタート

6月1日から、福井県の特産「福井梅」の出荷がスタートしました。初出荷を祝うセレモニーが若狭町の梅選果場にて行われ、式にあたり J A敦賀美方の川崎専務からは「大雪による雪害や開花時期の低温障害などを心配していたが、無事に出荷式が迎えられたこと、生産者の努力に感謝申し上げ、市場や消費者に支持される品質の確保を引き続きお願いしたい」と挨拶。この日、出荷が始まったのは主に、梅酒やジュースなどに使われる「剣先」で、梅干用の「紅映」とあわせると 800 トン~1,000 トンの出荷を見込んでいます。また、J A敦賀美方は新たに開発した新商品「ひとくち完熟梅」「福井梅ピューレ」を発表しました。どちらも新福井梅ブランドである「福太



夫」を使用し、8月末からの販売を予定しています。「ひとくち完熟梅」は半生製法で作られたドライフルーツ。1月から道の駅や直売所にてプレ販売を行っており、女性から高い評価を得ています。一方、「福井梅ピューレ」はパンや飲料、菓子、さらにはヨーグルトやプリンといった幅広い分野で使えるよう提案された業務用ピューレ。酸味が少なく砂糖を加えなくても程よい甘みが特徴です。



# ゆりの里公園内 農産物直売所オープン!!

6月1日、坂井市春江町のゆりの里公園に農産物直売所「ゆりいち」がオープンしました。「ゆりいち」は J A花咲ふくい、J Aはるえ、三里浜特産農協でつくる株式会社で運営。オープンにあわせ記念式典が行われました。オープニングでは坂井市のテーマソング「しあわせの花」を大石小学校児童が合唱し



花を添えました。有田代表取締役からは「春江町はもともと



と米単作地帯であるが、今後はこの直売所をきっかけに、様々な園芸作物が拡大してほしい」と挨拶し、テープカットが採り行われました。入り口では先着 300 人に花の種が配布されました。営業時間は午前 9 時から午後 5 時で毎週水曜日が定休。11 月にはレストランもオープンする予定です。

# TACが新聞記事に掲載されました！

## 事業承継サポート JA花咲ふくい

JA花咲ふくいのTACと生産者が「事業承継～次世代へのバトンパス～」という見出しで3月23日に日本農業新聞に掲載されました。ご覧になられたでしょうか。とりあげられたのは、親子で農業法人を営み今年4月に親から子へと代表が変わったあわら市管内の生産者です。今回は事業承継の話し合いのきっかけづくりのため、全農が発行した「事業承継ブック」を活用し、親子の仲介役となつて相談にあたりました。農業における家族経営の事業承継は、単なる「技術の承継」や「土地や財産の相続」だけではありません。「人」「モノ」「お金」「情報」「顧客」といった様々なことも承継される必要があります。これら事業承継を円滑にすすめるためにも、つなぎ役ともいえるTACの重要性は高まっており、人材育成を含めたJAの体制強化が求められています。



**TAC**

### 事業承継 ～次世代へのバトンパス～

TAC(タック)とは、「地域農業の担い手に向くJA担当者」の愛称です。

1

JA全農では、日本農業の最重要課題である世代交代を進めるための「事業承継ブック」を発行した。2017年は現職世代が70歳代に突入していく年であり、次世代へのバトンパスは待たない状況だ。この課題に向き合う「親子」とそれをサポートするTACの姿を追う。

事業承継ブック  
公開中

あわら農産の事務所にて事業承継について相談するJAの新宅後之膳長補佐(右から2人目)と藤田政治代表(右から1人目)、大介さん(左から1人目)、祐介さん(左から2人目)

#### 一刻も早い事業承継の取組を

「『事業承継』には、できるだけ早く取組むべきだ」。福井県JA花咲ふくい管内のあわら農産で取締役を務める藤田大介さん(38)は、そう確信する。現在代表を務める父親の政治さん(65)に代わり、4月1日に同法人の代表に就任することが決まっている大介さんは、先代に見守られながら経営を軌道に乗せることができるメリットは大きいと実感している。

あわら農産は、同JA管内でも指折りの経営規模を誇る担い手の一つ。経営面積は41㌥で、米、麦、大豆などを生産している。政治さんは一代で経営規模拡大を果たし、農作業の受託、近隣の農家から米の乾燥費を請け負うなど多角化を進め、安定した経営基盤を築き上げてきた。

政治さんは家族間で話し合い、65歳の年金支給開始年齢になった第一線を退くことを決めていた。元気がうちに代表を譲ることで、時間を掛けて大介さんを一人前の経営者に育てて行きたいという思いがあったからだ。

「あわら農産は地域農業の維持発展にとつても貴重な担い手。将来にわたって事業が継続できるよう次世代への機軸を支援していきたい」とTACの新宅後之膳長補佐。大介さんの代表就任に先立つ2月上旬、新宅後之膳長補佐はあわら農産の事務所にて「事業承継ブック」を持参した。

これを手にした大介さんと政治さんは、弟の祐介さん(31)も交えてページを開き、事業承継の進み具合を確認するためのチェックシート「事業承継の大事な5項目」に目を通しながら、共有出来ていることを確認した。

#### 事業承継は栽培技術だけにあらず

就農して10年になる大介さんは、今や農業機械のオペレーターとして、あわら農産が誇る農産物の高品質・安定生産を担う柱となっている。しかし、資産状況や契約関係、保険の加入状況などの経営面はまだまだ政治さんに確認しなければわからないことが多い。生産面では政治さんに頼らずともやって行ける自信はあるが、経営全体を見た時には政治さんに頼らざるを得ない部分も多く、「ヒト」「モノ」「お金」「情報」「顧客」の5項目を事業承継する難しさと重要性を痛感している。

政治さんは「後の世を見て覚える」というタイプ。営農のノウハウをはじめ、作業の段取りなど、事業運営を一手に手掛けてきた。大介さんは「これから課題は山積している。父が元気なうちにできるだけたくさんのお金を取り出すために話し合いをしっかりとし、一日も早く自分なりの農業経営を確立したい」と思いを新たにしている。

#### JAの体制づくりも急務

同JA管内の担い手は、認定農業者と任意組織合わせて353(平成28年末現在)あり、その多くが世代交代や後継者の問題を抱えている。JAは今年、事業承継の話し合いのきっかけづくりをしようと、JA全農が発行した「事業承継ブック」をJA青壮年部員などに500部配布した。JAの大崎良雄会長は「TACを中心に事業承継ブックの活用を進めていくと同時に、JAとして事業承継支援に向けた体制づくりも早急に検討し、事業承継後の主体となる息子世代との信頼関係を築いていかなければならない」と意欲を示している。

#### 事業承継ブックとは?

自らも農業後継者である全農職員が、実家や地元の実況、全国の農業経営者や後継者との意見交換の中で「事業承継の必要性」を痛感し、NPO法人農家のこせがれネットワークとともに発行した。

作成にあたっては、全国農協青年組織協議会(JA青年部)及び全国農業青年クラブ連絡協議会(4Hクラブ)にも意見を頂き、現場の実情を反映させた一冊です。「親子間の話し合いのきっかけ」にするため、趣旨に賛同するJAのTACが訪問ツールとして活用を進めています。

JA全農では、日本農業の最重要課題である世代交代を進めるための「事業承継ブック」を発行した。2017年は現職世代が70歳代に突入していく年であり、次世代へのバトンパスは待たない状況だ。この課題に向き合う「親子」とそれをサポートするTACの姿を追う。

事業承継ブック  
公開中

**TACの役割**

- ①地域農業の担い手と訪問してご意見・ご要望をお聞きし、誠実にお応えします。
- ②地域農業の担い手の経営に役立つ各種情報をお届けします。
- ③地域農業の担い手のご意見を拾い取り、JAグループの業務改善につなげます。

**TACの由来**

Team for Agricultural Coordination  
JAグループ全体として地域農業をコーディネートします。

**Tとことん、A会って、Cコミュニケーション**

全国農協青年組織協議会  
TEL: 03-6271-6276

全農

全農

## 後編 記集

組合員トータルサポートセンターでは、本年度より新たに「担い手サポート通信」を発行することになりました。この誌面では、農業所得増大に向けた誌面づくりを心掛けつつ、皆さんに楽しんでもらえるよう、様々な情報をお伝えしていきたいと考えておりますので1年間、よろしくお願いいたします。(HK、TK)



JA農機

6/1<sup>木</sup>7/31<sup>月</sup>  
平成29年

# わくわく キャンペーン

JAで農機具を買って当たる!!

期間中、対象商品を30,000円以上お買い上げの方に 抽選で豪華賞品をプレゼント!!

**特賞**

旅行券  
5万円分

2名様

**A賞**

バルミューダー  
トースター

5名様

**B賞**

カタログ  
ギフト

10名様

**C賞**

ギフトカード  
3,000円分

15名様

**D賞**

福井県  
特産ギフト

15名様

## 応募方法

対象商品を30,000円以上お買い上げいただいた方に応募券を進呈いたします。応募券に必要事項をご記入の上、JA担当者にお渡しください。

## 当選発表

8月中旬頃、賞品の発送をもってかえさせていただきます。

## 対象品目

トラクター・コンバイン・田植機  
管理機・乾燥機・その他小物製品

## 対象メーカー

井関農機・クボタ農機・山本製作所  
やまびこ・丸山製作所・カンリウ



これは便利！  
使いきりサイズ。

新発売

# 小袋肥料 キャンペーン

平成 29 年 11 月末まで実施中！



あさひ  
5kg



野菜の達人  
5kg



そ菜 5 号  
5kg



セルカ 2 号  
5kg



アツミン  
4kg

特典 1

上記対象商品をご購入の方、各肥料取り扱い店舗  
先着30名様に『開封カッター「わに太」』プレゼント！

※お一人様 1 個限り ※賞品がなくなり次第終了となります。※各店舗により対応が異なります。



特典 2

上記対象商品を1つご購入でスタンプ1個 **JA 小袋** 進呈。  
スタンプを3個集めて応募すると  
50名様に『移植ごて』プレゼント！

□応募方法  
専用応募紙に購入スタンプ3個集めて、  
必要事項記入のうえ応募箱にご投函ください。

□抽選および当選発表  
12月中旬に抽選を行ない、当選者に賞品を発送いたします。  
当選発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

●ご記入いただいた個人情報は、当キャンペーンの賞品発送にのみ使用させていただきます。●



お求めは、お近くのJA肥料取り扱い店で。

※一部取り扱いがない店舗がございます。



サイズがデカいと、お得もデカッ!!

対象商品ご購入で、豪華賞品ももらえる!

# デカ得

11月末まで  
実施中!

※キャンペーン開始時期は、JAによって若干異なりますのでご注意ください。

キャンペーン2017



200ℓ

**ラウンドアップ  
マックスロード**

200ℓ

**草枯らしMIC**

200ℓ

**タッチダウンIQ**

**ラウンドアップ  
マックスロード**



2ℓ



5.5ℓ



20ℓ

もれなく  
当たる!

**メカ得  
コース**  
対象商品をご購入の方

**Nツアー旅行券  
10,000円分 プレゼント!!**



**デカ得**  
大型規格でお買い得!!  
JAグループ

**草枯らしMIC**



5ℓ



10ℓ



20ℓ

**バスタ**



2.2ℓ



10ℓ

水田・畦畔や  
刈跡の徹底除草を!

**ブリグロックSL**

※ご購入の際は印鑑が必要となります。



5ℓ

農業戦隊  
**アグリゴバー**



**タッチダウンIQ**



6ℓ



20ℓ

抽選で  
当たる!

**デカ得  
コース**  
2ℓ以上の  
対象商品をご購入の方



**50箱  
BOXティッシュ 60箱**



**50箱  
トイレトペーパー 96ロール**

【応募方法】期間中 対象の除草剤をご購入の方に専用応募用紙を進呈。必要事項をご記入の上、応募箱にご投函ください。  
【当選発表】賞品の発送をもって発表とさせていただきます。

※写真はイメージです。※予告なく賞品が変わる場合がございます。予めご了承ください。

各JAで取扱商品が異なります。詳しくはお近くのJAで。

JA福井県経済連肥料農薬課

福井市高木中央  
2丁目4202

☎0776-54-0233



福井の農業を元気に!

# 農家のみなさんを 応援します!

応援!

お借入期間  
平成29年  
4/3<sup>①</sup>  
12/29<sup>②</sup>金

保証料負担

0 円

※条件変更等により保証料の追加が発生した場合、追加分についてはお借入者の負担となります。

対象資金

地域農業応援資金

応援!

当初  
3年間

固定  
金利

年0.2%

(JAバンク利子補給後金利) ※4年目以降の金利については、JA所定の金利となります。

ご融資方法

証書貸付

ご融資期間

25年以内

ご融資金額

事業費の100%の範囲内かつ  
100万円以上5,000万円以内

ご利用いただける方	●組合員 ●組合員の組織する団体、法人
お使いみち	(1)設備資金 (ア)農地取得・改良・造成 (イ)農機具の購入(購入に付する諸費用を含みます) (ウ)農業用施設等の建設 (エ)発電・蓄電設備機器の購入 (2)運転資金

担保及び保証 福井県農業信用基金協会の保証をご利用いただけます。また、必要に応じて、担保・保証人をいただく場合がございます。

保証料支払方法 一括前払いのみ

お申込み時にご用意いただくもの ●事業費を確認できる書類(事業計画書、設計書、見積書など) ●その他JAが必要とする書類

※繰上返済を行う場合や返済条件を変更する場合には、別途JA所定の手数料が必要となります。 ※ご返済の試算については、店頭へお申しつけください。 ※詳しくは、店頭へお申しつけください。

対象資金

農業近代化資金

応援!

当初  
5年間

固定  
金利

年0%

(JAバンク利子補給後金利) ※6年目以降の金利については、JA所定の金利となります。

ご融資方法

証書貸付

ご融資期間

15年以内

ご融資金額

100万円以上

■個人：1,800万円以内  
■法人・集落営農組織等：2億円以内  
■農業参入法人：1億5千万円以内

ご利用いただける方	●組合員 ●組合員の組織する団体、法人
お使いみち	(1)設備資金 (ア)農機具・農舎等の取得、改良、復旧 (イ)果樹等の植栽・育成 (ウ)1,800万円以内の小規模な農地改良等 (2)運転資金

ちょリスのチョイス!

©ちょリス

JAバンク

福井県JAバンク

検索